

多摩川

R5多摩川中流河道掘削工事

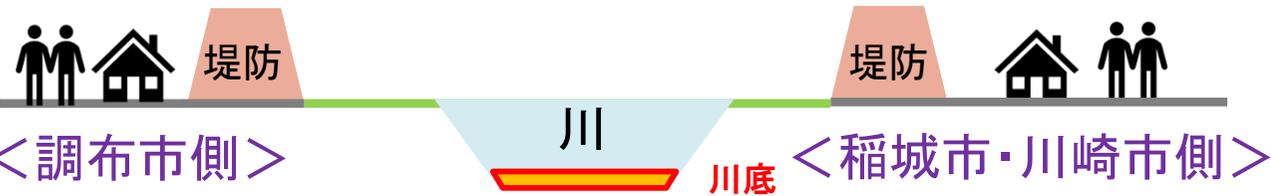
■工事箇所

神奈川県川崎市多摩区菅野戸呂地先



■工事について

施工範囲(赤枠)の模式図



■現在(令和7年3月)

■洪水時の様子



令和元年東日本台風の状況

平常時の状況



河道を掘削しました。

工事内容

洪水が流れる断面を増やし洪水時の水位を低減させるため、河道を掘削します。

工期

令和6年4月1日～令和7年6月30日

この工事に関するお問い合わせは→

京浜河川事務所 多摩出張所

東京都稲城市大丸3117-1 Tel. 042-377-7403

多摩川

R5多摩川中流河道掘削工事

■工事のようす



工事着手前
(令和6年7月)



工事に入る準備をしています。
(令和6年8月)



河道を掘削しています。
(令和6年11月)



河道を掘削しています。
(令和6年10月)



工事用道路を整備しています。
(令和6年9月)

▽ 前のページより



↑
多摩川

河道を掘削しています。
(令和6年12月)



↑
多摩川

河道を掘削しています。
(令和7年1月)



↑
多摩川

河道を掘削しています。
(令和7年2月)



↑
多摩川

河道を掘削しました。(令和7年3月)



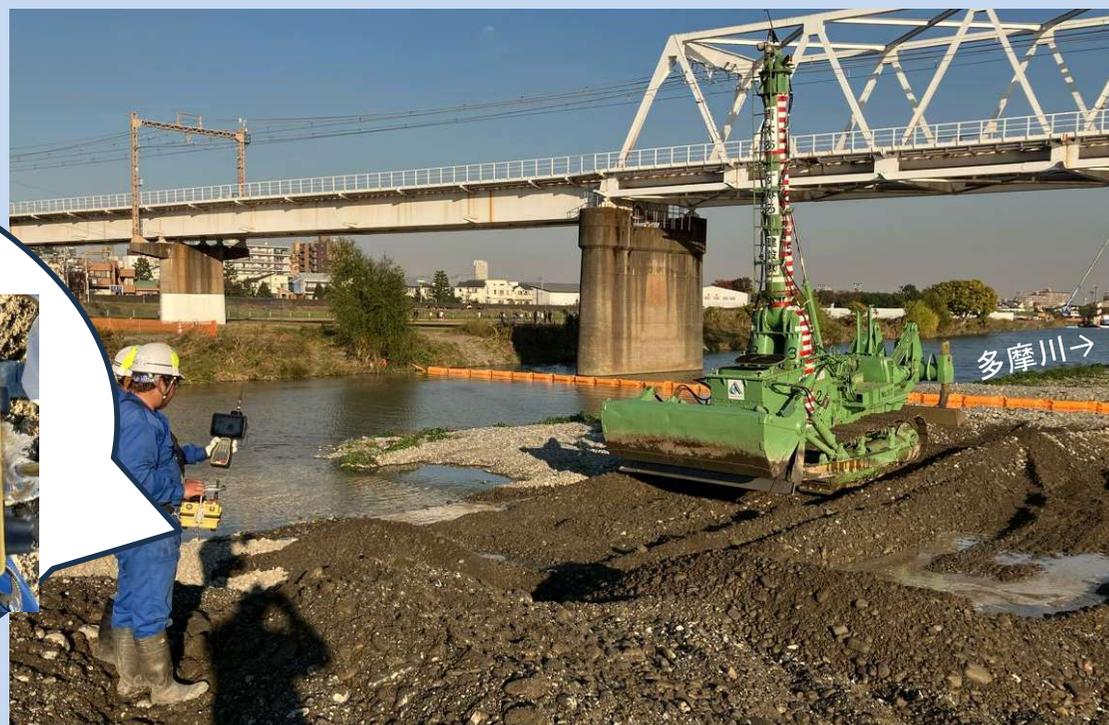
↑
多摩川

■ 水陸両用ブルドーザーで掘削を行います

本工事で水陸両用ブルドーザーを使用するメリット

- ① 栈橋、船着き場の設置が不要のため、経済的
- ② 水深が浅く、浚渫船の進入が不可能な場所でも掘削可能

・ 操縦はコントローラーで行い、走行位置や走行履歴、掘削状況をデータ管理しています。



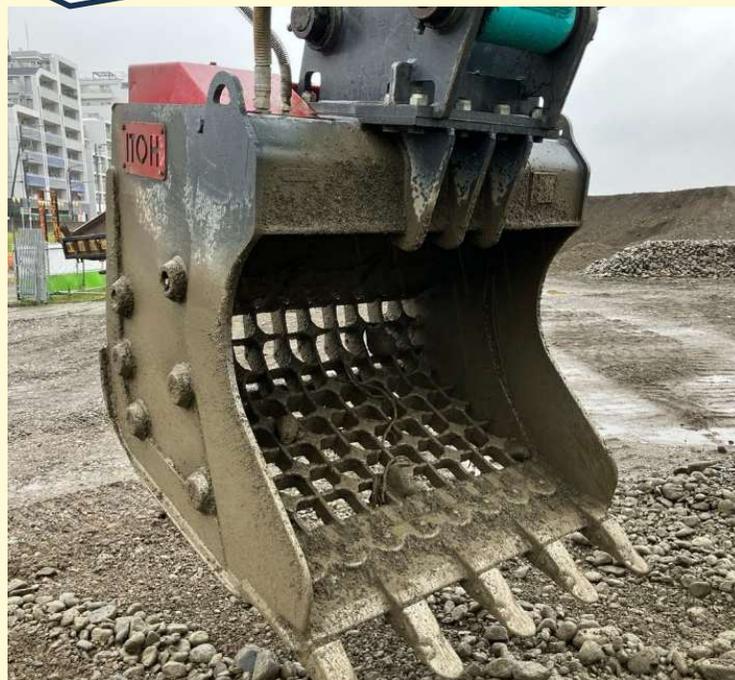
騒音・振動低減の対策を行っています。

掘削した土砂を堤防整備のための盛土材に使用します。

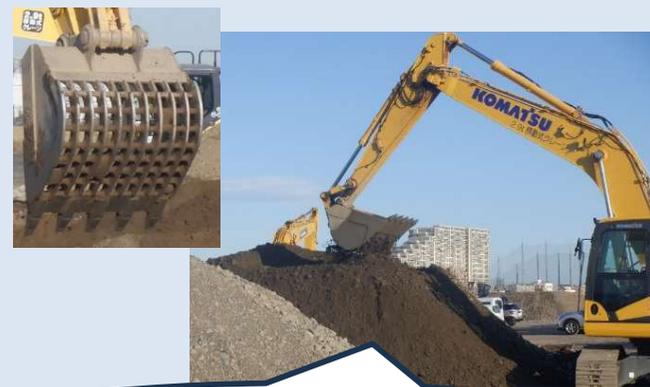
本工事では低振動型ふるい分けバケット（オシレートバケット）を使用し、騒音・振動の低減を図っています。

低振動型ふるいわけバケット(オシレートバケット)

- ・バケットの網自体が交互に自動で上下することにより、低騒音・低振動で土砂の分別を行うことができます。



ふるい分けバケット(スケルトンバケット)



- ・バックホウのアームを小刻みに上下させ、土砂の分別を行います。